

## 1 自治体SDGs推進評価・調査検討会（第9回）の開催結果について（概要）

2  
3  
4 ○日時：平成30年11月9日（金）10：00～12：005  
6 ○場所：永田町合同庁舎 特別会議室7  
8 ○出席委員：村上座長、浅見委員、小田切委員、蟹江委員、竹本委員、藤田委員9  
10 ○実施内容：11 SDGs未来都市の現地訪問の報告、SDGs未来都市計画の改定の考え方、および進  
12 捗評価様式について、確認や議論を行った。13  
14 ○概要：

15 ① &lt;前回（第8回）の議事概要について&gt;

16 ○ 前回の自治体SDGs推進評価・調査検討会（以下「検討会」という。）の議事概要  
17 が確認された。18  
19 ② <SDGs未来都市へのサポート（現地訪問）について（報告）>

20 ○ 委員による現地訪問を実施した都市について、現地訪問の結果が報告された。

21  
22 ③ <SDGs未来都市計画の改定に係る基本的な考え方について>23 ○ 「SDGs未来都市計画の改定に係る基本的な考え方」について、前回からの修正  
24 内容が確認された。25 ○ 委員より、自治体が計画を改定する際は、変更点と変更理由をわかりやすく報告してほ  
26 しいという意見が出た。27  
28 ④ <自治体SDGsの評価に関する基本的な考え方について>

29 ○ 「自治体によるSDGsの取組の評価の視点」について、議論がなされた。

30 ○ 委員より、今後更新していくことを見据えて、更新の日付を明記してほしいとい  
31 う意見が出た。32 ○ 「統合的取組の評価」に関する記述をより具体化するため、委員より修正案が提示さ  
33 れた。34  
35  
36

1 ⑤ <SDGs 未来都市等の進捗評価について>

- 2 ○ 委員より、国際的な貢献や発信を意識するために、国内外への情報発信に関する項目を  
3 追加するよう意見が出た。
- 4 ○ 全体計画の達成度が0%か100%でしか表現できない指標については、自由記載欄に定性  
5 的な進捗等を記述することが確認された。
- 6 ○ 全体計画においても統合的取組が評価されるよう、執行体制に横断的体制の構築が記  
7 載されるとよいという意見が出た。
- 8 ○ 相乗効果の記述欄はあるがトレードオフに関する記述欄がないことに対して議論があ  
9 り、「トレードオフの緩和」や「全体最適化」という言葉を自治体に対して示すと良い  
10 のではないかという意見が出た。
- 11 ○ 「地方創生・地域活性化への貢献」という欄があることに対して、SDGsのゴール達  
12 成と地方創生は重なる部分が大いいため、不要ではないかという意見が出た。一方、S  
13 D G s が地方創生・地域活性化に結び付いていることを自治体に意識してもらうため  
14 にも、この欄が必要であるという意見が出た。
- 15 ○ 来年の評価の機会までに、何かしらの形で自治体の進捗状況を確認する場が欲しいと  
16 いう意見が出た。一方、自治体への負担に配慮すべきとの意見が出た。

17

18 ⑥ <その他>

- 19 ○ 次回の評価調査検討会は12月11日であることが確認された。

20

21

以上